PROTO

株主・投資家の皆さまへ

株主通信 第29期

平成19年3月期

株式会社 プロトコーポレーション

証券コード:4298

株主の皆様へ

代表取締役社長

入川 達三

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、第29期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）のご報告を申し上げます。

当期におきましても、当社グループでは、ブランドの確立を経営戦略上の重要課題と位置付け、自動車関連情報分野の更なる拡充と、生活関連情報分野の早期事業確立に取り組んでまいりました。

具体的には、消費者から支持されるコンテンツの拡充を推進するとともに、利便性を追求したサービスの拡充を図り、競争優位性の確立ならびに商品ブランドの強化・確立を図ってまいりました。特に、インターネット・モバイルにつきましては、将来的な情報誌からのメディアチェンジも視野に入れ、商品・サービスの開発強化に取り組んでまいりました。

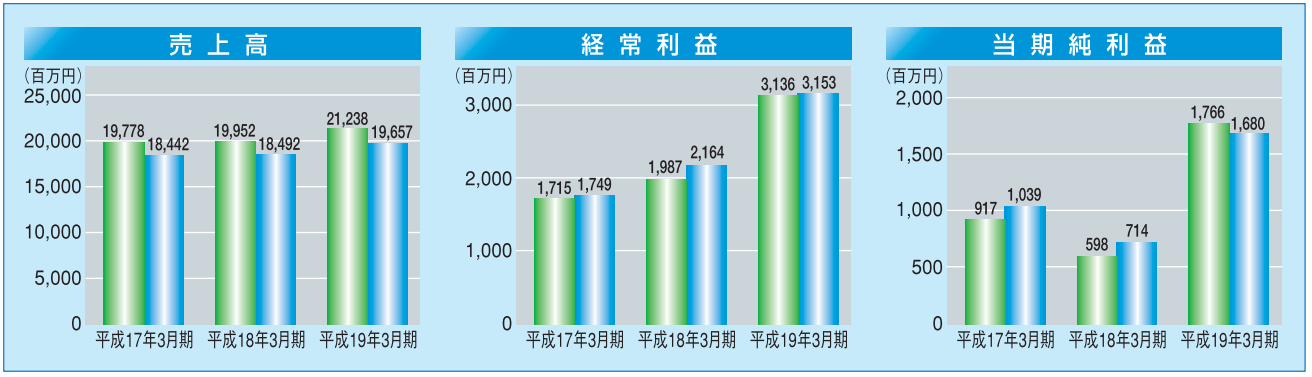
各事業における取り組みといたしましては、自動車関連情報分野において、外部環境が厳しい状況で推移する中、主要顧客である中古車販売店の仕入れから販売までの総合的な経営支援を事業方針に掲げ、インターネット関連商品の拡販に努め、取引社数の拡大ならびに取引単価の維持・拡大に努めてまいりました。また、生活関連情報分野におきましては、新たに有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」を立ち上げるなど、時代の変化に対応したサービスの提供にも取り組んでまいりました。

この結果、当社グループ業績につきましては、売上高、経常利益、当期純利益のいずれにおいても過去最高を更新することができました。今後につきましても、ユーザーならびにクライアントから、一層の支持を得られる商品・サービスを提供し、持続的な事業の成長を目指してまいります。

当社は、今年創業30周年を迎えますが、次なる30年に向け、更なる企業価値の向上を図ってまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成19年6月

業績ハイライト



連結業績の概況

売上高21,238百万円（対前年同期比6.4%増）、経常利益3,136百万円（同57.8%増）、当期純利益1,766百万円（同195.3%増）と増収増益となりました。

自動車関連情報分野を中心に、生活関連情報分野、その他事業においてそれぞれ増収となったことに加え、自動車関連情報分野における情報誌制作工程の一部見直しに伴う外注コストの削減により、売上原価率が低下し、経常利益が増益となったほか、当期純利益も大幅な増益となりました。

セグメント別の概況

●自動車関連情報

インターネット関連商品の拡販に努め、取引社数の拡大ならびに取引単価の維持・拡大に努めてきました。この結果、売上高は、20,138百万円（対前年同期比5.6%増）となり、営業利益につきましても、情報誌制作工程の一部見直しに伴う外注コストの削減により、5,036百万円（同22.0%増）となりました。

●生活関連情報

カルチャー情報事業を中心に、売上高は、675百万円（対前年同期比16.4%増）、営業利益は、カルチャー情報事業が初の通期黒字化を達成したものの、平成18年10月に開設した有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」の初期投資が発生したことなどにより、△89百万円となりました。

●不動産事業・その他事業

不動産事業は売上高160百万円（対前年同期比7.7%減）、営業利益58百万円（同0.3%減）となりました。

また、その他事業につきましては、株式会社ボムルドットコムの子会社化により、売上高263百万円（対前年同期比107.6%増）となるものの、営業利益は、株式会社マーズフラッグの営業損失等により、△329百万円となりました。

プロトグループについて

連結子会社（平成19年4月3日現在）

注:（株）予約ネットは、平成18年12月1日をもって（株）プロトリンクと合併いたしました。

株式会社プロトリンク
事業内容
情報誌の取材・編集・制作。
広告代理業。印刷用紙の仕入・販売。

株式会社エムペック
事業内容
自動車販売の見積り仲介サービス。

株式会社リペアテック
事業内容
自動車の修理･部品に関する情報誌出版、関連ソフトウェアの開発･販売。

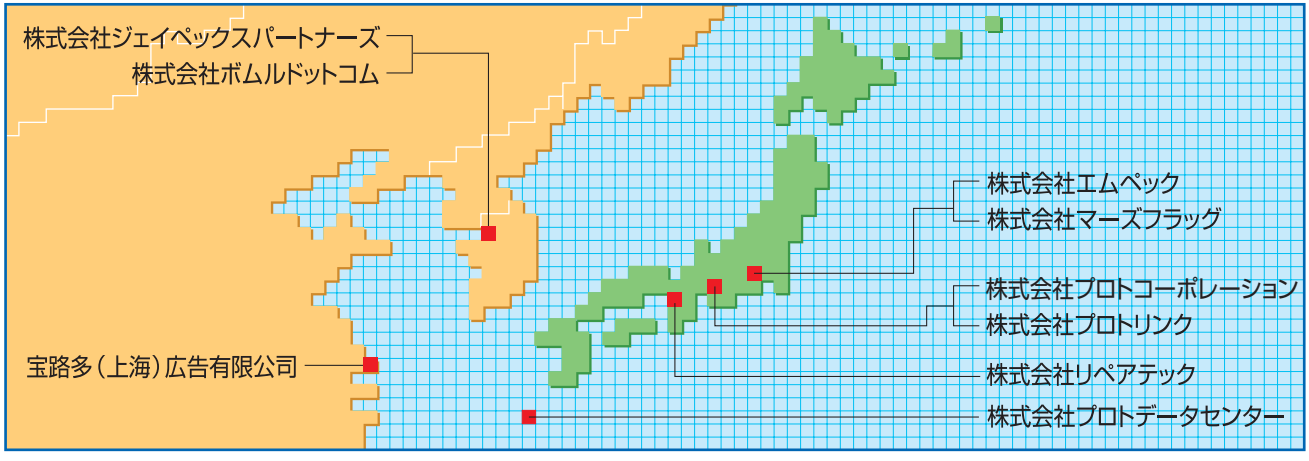
株式会社マーズフラッグ
事業内容
見える!検索エンジン「MARS FLAG」の開発･運営。

株式会社プロトデータセンター
事業内容
データベース構築等の情報処理サービス。

宝路多（上海）広告有限公司
事業内容
中国（上海）自動車市場における情報提供サービス。

株式会社ジェイペックスパートナーズ
事業内容
ソフトウェアの開発・生産・流通、同事業を営む会社への投資事業等。

株式会社ボムルドットコム
事業内容
ソフトウェアダウンロードサイトの運営、ソフトウェアの開発･販売。



主なトピックス

宝路多（上海）広告有限公司が「吉車網」を開設

中古車物件の紹介サイト「吉車網」

平成18年9月、宝路多（上海）広告有限公司（平成18年12月に上海宝路多商務諮詢有限公司から商号変更）が中国・上海の中古車物件の紹介サイト「吉車網」を開設いたしました。急速に発展する中国自動車市場ですが、自動車関連の情報サービスは発展途上であり、同社では、先に刊行したフリーペーパー「吉車」と併せて、中国においても、日本で培われた自動車関連情報提供サービスのノウハウを活かした事業の確立を推進しています。

株式会社プロトデータセンターを設立

当社では、現在、クルマ・ポータルサイト「Goo-net」を軸としたインターネット関連商品の強化・拡充に取り組んでいます。「Goo-net」上の中古車掲載台数は、34万台を超え、コンテンツ量の増加とともに各種情報のデータベース構築業務は、以前に増して重要なものとなってきています。

平成19年４月、自動車関連情報におけるデータベース構築等の情報処理サービスを行うことを目的として、株式会社プロトデータセンターを設立いたしました。

今後、消費者メリットを追求した様々なコンテンツ・サービスの開発・提供を迅速に展開すると同時に、データベース構築業務における更なるコストダウンの実現を目指します。

株式会社プロトデータセンター

所 在 地 ：沖縄県宜野湾市
設　　立 ：平成19年4月
資 本 金 ：4億9,000万円
事業内容 ：データベース構築等の情報処理サービス

（株）プロトデータセンターのオフィス

PROTOについて

経営理念

「物を売る事より知恵、情報を通じて人・企業と効果的な結び付きをし
社会に貢献することを事業の基本理念とする」

当社の基本的な考え方は、人・企業とは世の中にあって、また、その業界にあって真に必要とされることに価値観を持つ、ということです。

他人、他企業と同じことはしたくない。

世の中に人や物が溢れている中から、本当に必要とされるためには情報と知力が絶対の武器であり、多少のリスクがあっても旺盛なチャレンジ精神とスピーディーな行動力で次代を切り開き、大きく成長することに喜びを感じることができる価値観を共有することが必要であると考えております。このため、常に「独創性のある事業」を目指し、その結果として「魅力ある企業」であり続けたいと考えております。

社名の由来

P	R	O	T	O
Personality	Realize	Original	Total	Offer
個性	実現する	独創的な	総合的な	提供する

「個性」を活かした**「独創的な」**商品を**「実現」**し、広く社会に**「総合提供」**いたします。

会社概要（平成19年3月31日現在）

商　　号	株式会社プロトコーポレーション
(英文社名)	PROTO　CORPORATION
本　　社	愛知県名古屋市中区葵一丁目23番14号
設　　立	昭和54年6月1日
資 本 金	18億2千4百万円
従業員数	544名

事業内容

消費者・ユーザー向け商品

中古車販売店、パーツ販売店（広告出稿クライアント）は、自社商品の販売機会拡大を図るため、様々なメディアを通じて、広告宣伝活動を行っています。

当社は、広告出稿というかたちで、各販売店の商品であるクルマ等の在庫データを収集しています。これらの在庫データは、当社のもとで一元管理され、整理・分類、分析・加工を行うことで、付加価値の高い情報として、当社のメディア（情報誌・インターネット・モバイル）を通じて、より多くの情報から商品を選択したい消費者に提供されています。

このように当社は、販売店・消費者双方のニーズをマッチングさせることで、消費者の購買活動をサポートするとともに、販売店の販売機会拡大に寄与しています。

企業・法人向け商品

中古車販売店をはじめとする法人企業向けサービスとして、全国のオート・オークション会場から収集した中古車落札価格情報や、当社が独自に商品化した中古車基準価格情報の提供を行っています。更に、消費者が所有する自動車を中古車販売店が入札方式で競り落とすCtoBの中古車買取サービスの提供を開始するなど、効果的・効率的な仕入・販売を実現するための経営サポートも行っています。

主なトピックス

バイク情報誌「GooBike」中国版・東北版創刊、クルマ情報誌「Goo」東北版エリア拡大

中国地方及び東北地方でのバイク情報への需要と北東北地方での自動車情報への需要が高まってきているため、バイク情報誌「GooBike」中国版（平成19年2月）、「GooBike」東北版（平成19年3月）を創刊し、クルマ情報誌「Goo」東北版の北東北地方へのエリア拡大（平成19年2月）を実施いたしました。

この新創刊及びエリア拡大により、地域や人に即したきめ細かい情報提供を行い、読者及びユーザーにより有用かつ広域の情報を提供することが可能になりました。

また、バイク・ポータルサイト「GooBike.com」とクルマ・ポータルサイト「Goo-net」のデータベースも同時に拡充され、ユーザーにとって従来以上に便利なインターネットサイトとなりました。

「GooPartsオンライントレード」開始、バイクパーツ検索・購入サイト「GooBikeParts」開設

バイクパーツ検索・購入サイト「GooBikeParts」

当社では、自動車関連情報分野における新規事業の一環として、EC（電子商取引）事業を開始しています。

まず、当社クライアントである中古車販売店向けに自動車用品・パーツのECサービス「GooPartsオンライントレード」を平成18年10月より開始いたしました。このサービスを通じて、自動車用品・パーツの仕入をサポートし、クライアントの売上増加に貢献することを目的としています。

また平成18年11月、バイクパーツ検索・購入サイト「GooBikeParts」を開設いたしました。「GooBikeParts」は新品バイクパーツに特化した消費者向けECサイトとして、バイクパーツの購入に役立つことを目的としています。これにより、バイク購入のためのコンテンツだけではなく、より包括的なバイク関連コンテンツを提供できることになりました。

モバイルコンテンツの強化

モバイルによるインターネット閲覧人口が急速に拡大する中、当社では、モバイルサイトにおいて、会員向け有料コンテンツを拡充しています。

「クルマ情報・Goo!!」では、無料コンテンツに加え、「Gooプレミアムメンバー」向けに有料コンテンツの提供を行っており、その他のモバイルサイトでも付加価値の高い独自コンテンツを提供し、サービスの拡充を図っていきます。

「クルマ情報・Goo!!」

「POPSNOW&SUMMER」

「韓流エンターテインメント!」

TOPICS 平成18年4月～平成19年3月

平成18年4月	モバイルサイト「クルマ情報・Goo!!」の一部のコンテンツを有料で提供を開始
8月	「GooBike.com」を通じてリサーチサービスを提供する「GooBikeリサーチ」を開始
	「Goo-net買取オークション」を開始
10月	有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」を開設
	韓国映画・韓流ドラマ総合情報モバイルサイト「韓流エンターテインメント!」を開設
	自動車販売業社向け自動車用品・パーツEC事業「GooParts オンライントレード」を開始
11月	バイクパーツ検索・購入サイト「GooBikeParts」を開設
	「オアシスナビ」が「Yahoo!セカンドライフ」へ施設情報の提供を開始
平成19年2月	「GooBike.com」が「Yahoo!自動車」へバイク物件情報の提供を開始

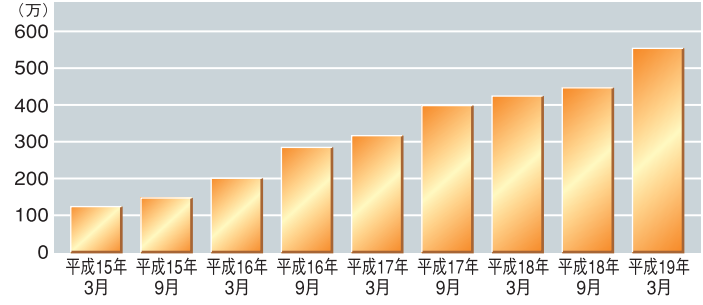
クルマ・ポータルサイト「Goo-net」は平成18年に開設10周年を迎えました。

クルマ・ポータルサイト
Goo-net

まだ、インターネットが普及する以前の平成8年、当社は、「Goo-net」を開設いたしました。「Goo-net」は、中古車検索以外にも、新車情報や見積サービスなど、コンテンツ・サービスの拡充を次々と進めてきました。今やコンテンツ量（中古車掲載台数34万台）において競合する自動車関連サイトを大きく引き離し、No.1クルマ・ポータルサイトに成長いたしました。この結果、ユーザーからの圧倒的な支持を集め、月間アクセス数が550万※を突破し、この4年間で約4倍に増加いたしました。

※（平成19年3月現在）

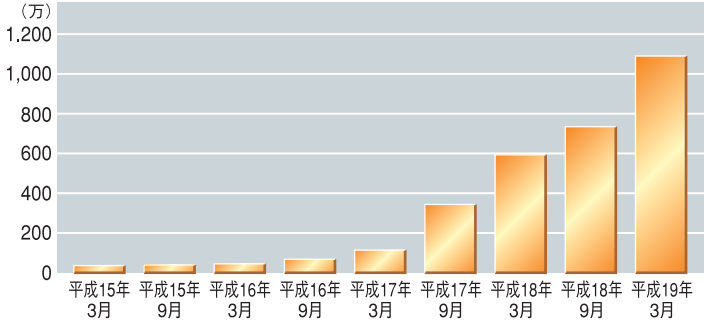
●『Goo-net』アクセス数の推移



「Goo-net」開設から3年後、i-modeサービス開始と同時に、モバイルサイト「クルマ情報・Goo!!」を開設いたしました。その利便性の高さから、ユーザーの圧倒的な支持を集め、NTTドコモ、au、ソフトバンクの3キャリア合計で月間アクセス数が1,100万※を突破し、この4年間で約25倍に増加いたしました。

※（平成19年3月現在）

●『クルマ情報・Goo!!』（モバイル）アクセス数の推移



平成18年8月、新たなサービスとして「Goo-net買取オークション」を開始しました。

クルマ・ポータルサイト
Goo-net 買取オークション

「Goo-net買取オークション」は、ユーザーが所有している自動車を「Goo-net買取オークション」に出品し、クルマ情報誌「Goo」、輸入車情報誌「GooWORLD」に掲載している中古車販売店が入札方式で競り落とすというCtoBの中古車買取サービスです。

新車販売の不振やユーザーの使用年数の長期化が進み、良質な中古車が中古車業界に流通しにくくなってきている現在、小売を主業としている中古車販売店に新たな仕入ルートを提供すること、また自宅に居ながら「気軽に、安心して、高く」自動車を売却できる場をユーザーに提供することを目的として、サービスを開始いたしました。

これにより、当社は、自動車を買いたいユーザーだけではなく自動車を売りたいユーザーとも接点を持つことができるようになりました。

「Goo-net買取オークション」ユーザー出品画面

●「Goo-net買取オークション」ビジネスモデルイメージ

「Goo-net買取オークション」TV-CM

連結・個別財務諸表

貸借対照表

（単位:百万円）

科目	連結		個別	
	前連結会計年度（H18.3.31）	当連結会計年度（H19.3.31）	前事業年度（H18.3.31）	当事業年度（H19.3.31）
流動資産	8,499	10,858	5,412	7,611
固定資産	7,719	7,065	8,089	7,608
流動負債	5,506	6,058	3,484	4,042
固定負債	681	560	257	212
純資産	10,030	11,305	9,759	10,964
総資産	16,218	17,924	13,501	15,219
1株当たり純資産（円）	1,097.22	1,042.41	1,116.80	1,048.00
自己資本比率（%）	59.1	60.8	72.3	72.0

※少数株主持分は純資産に含め表示しております。

損益計算書

（単位:百万円）

科目	連結		個別	
	前連結会計年度（H17.4.1～H18.3.31）	当連結会計年度（H18.4.1～H19.3.31）	前事業年度（H17.4.1～H18.3.31）	当事業年度（H18.4.1～H19.3.31）
売上高	19,952	21,238	18,492	19,657
営業利益	2,010	2,988	2,192	3,040
経常利益	1,987	3,136	2,164	3,153
当期純利益	598	1,766	714	1,680
1株当たり当期純利益（円）	66.13	168.78	79.49	160.63

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科目	連結	
	前連結会計年度（H17.4.1～H18.3.31）	当連結会計年度（H18.4.1～H19.3.31）
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,602	2,158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512	269
財務活動によるキャッシュ・フロー	309	△300
現金及び現金同等物の期末残高	5,413	7,569

連結株主資本等変動計算書（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

科　目	株主資本					評価・換算差額等合計	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年3月31日残高	1,824	2,011	5,493	△ 4	9,325	263	441	10,030
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△ 217	—	△ 217	—	—	△ 217
利益処分による役員賞与	—	—	△ 21	—	△ 21	—	—	△ 21
自己株式の取得	—	—	—	△ 2	△ 2	—	—	△ 2
当期純利益	—	—	1,766	—	1,766	—	—	1,766
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	△ 206	△ 42	△ 249
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,526	△ 2	1,523	△ 206	△ 42	1,274
平成19年3月31日残高	1,824	2,011	7,020	△ 7	10,849	56	399	11,305

株主資本等変動計算書（個別）（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

科　目	株主資本								評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計				
				別途積立金	繰越利益剰余金					
平成18年3月31日残高	1,824	2,011	254	4,630	782	5,666	△ 4	9,497	261	9,759
事業年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	—	—	△ 217	△ 217	—	△ 217	—	△ 217
利益処分による役員賞与	—	—	—	—	△ 21	△ 21	—	△ 21	—	△ 21
別途積立金の積立て	—	—	—	570	△ 570	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△ 2	△ 2	—	△ 2
当期純利益	—	—	—	—	1,680	1,680	—	1,680	—	1,680
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 233	△ 233
事業年度中の変動額合計	—	—	—	570	871	1,441	△ 2	1,438	△ 233	1,204
平成19年3月31日残高	1,824	2,011	254	5,200	1,653	7,107	△ 7	10,936	28	10,964

株式の状況

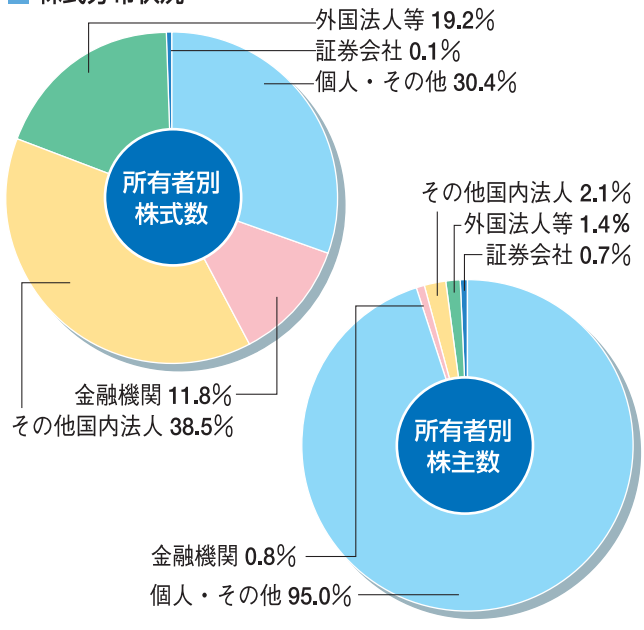
株式の状況（平成19年3月31日現在）

- 発行可能株式総数 …… 30,900,000株
- 発行済株式の総数 …… 10,470,000株
- 株主数 …… 1,966名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	出資比率（%）
① 株式会社夢現	3,300	31.54
② 横山博一	822	7.86
③ 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	545	5.21
④ 横山順弘	516	4.93
⑤ エイチエスビーシーファンドサービシィズ クライアンツアカウント006	433	4.14
⑥ ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエル オムニバスアカウント	301	2.88
⑦ ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505019	275	2.63
⑧ クレジットスイスファーストボストンヨーロッパピービー セクアイエヌティノントリーティクライエント	251	2.39
⑨ ビーエヌピーパリバセキュリティーズサービス ルクセンブルグジャスデックセキュリティーズ	212	2.02
⑩ 齊藤実	168	1.60

（注）上記の出資比率は、自己株式（7千株）を控除して計算しています。

株式分布状況



株主優待のご案内

100株以上ご所有の株主様に、所有株式数に応じて、全国百貨店共通商品券・図書カードを進呈。（割当基準日　3月・9月末日:年2回）

所有株式数100株以上の株主様	500円分の図書カードを進呈
所有株式数500株以上の株主様	1,000円分の商品券を進呈
所有株式数1,000株以上の株主様	2,000円分の商品券を進呈
所有株式数3,000株以上の株主様	3,000円分の商品券を進呈
所有株式数5,000株以上の株主様	5,000円分の商品券を進呈
所有株式数10,000株以上の株主様	10,000円分の商品券を進呈

株主メモ

■決　　算　　期：毎年3月31日
■定 時 株 主 総 会：毎年6月
■期末配当金受領株主確定日：3月31日
■中間配当金受領株主確定日：9月30日
■単 元 株 式 数：100株
■上 場 証 券 取 引 所：ジャスダック
■株 主 名 簿 管 理 人：三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先（お問合せ先）：〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
電話（0120）232-711

■同 取 次 所：三菱UFJ信託銀行株式会社　全国各支店
野村證券株式会社　全国本支店
■公 告 の 方 法：電子公告を下記の当社ホームページにて行います。
ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない時は、日本経済新聞に掲載いたします。
URL
http://www.proto-g.co.jp/IR/library.html

配当について

	1株当たり配当金		
	中間期末	期　末	年　間
平成18年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成19年3月期	15円00銭	15円00銭	30円00銭
平成20年3月期（予想）	15円00銭	15円00銭	30円00銭
記念配当	10円00銭	10円00銭	20円00銭
合　　計	25円00銭	25円00銭	50円00銭

当社IRサイトのご案内

最新のIR情報は、当社HPからご覧ください。
【IR情報】URL　http://www.proto-g.co.jp/ir
証券コード：4298

ご利用中の携帯電話からもIR情報をご覧いただけます。

⚠株券の電子化のお知らせ

「株券の電子化」は、正式には「株券不発行制度」と言い、株式取引決済の合理化・迅速化を実現するために導入された制度です。上場会社については、「株券不発行制度」に関する法律公布の日より5年以内（平成21年6月8日まで）に、一斉に「株券の電子化」が導入されます。詳細につきましては、下記へお問合せください。

■ 照会先：日本証券業協会　証券決済制度改革推進センター　TEL：03-3667-4500　URL：http://www.kessaicenter.com

DIGITAL CONTENTS COMPANY

PROTO

株式会社 プロト コーポレーション
〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号
TEL:052-934-2000（代表）
http://www.proto-g.co.jp